

測定原理、測定方法を基礎から学習できる スペクトラム・アナライザの基礎

コース型番 クラスルーム: H7240X-100
オンサイト: H7215X-100
期間 2日

【概要】

このコースは基礎編と応用編と分けて行います。理論と演習を通じて、スペクトラム測定をより深く理解し、実際の仕事でいかに実践的な測定方法を身につけます。演習、デモでは、最新のスペクトラム・アナライザを実際に使用します。基礎編ではスペクトラム・アナライザのハードウェアから基本操作を網羅し、応用編ではさまざまな信号測定のノウハウを学びます。

【コースの特長】

- スペクトラム・アナライザの基本的な原理を理解して、正しいスペクトラム解析が出来るようになります。
- 実際にスペクトラム・アナライザを操作する演習を通じより実践的な測定方法を身につける事ができます。

【対象者】

- スペクトラム・アナライザを使用するエンジニアの方
- スペクトラム測定に関する実践力を養いたい方
- スペクトラム測定について知識・技術を整理したい方

【前提知識】

弊社定期開催コースの「マイクロ波の基礎コース」を修了されているか、またはマイクロ波に関する基本知識を有すること。また、2日目はより実践的な内容が含まれますので、本セミナーの基礎の知識を有することが望ましい。

【コースフォーマット】

講義 70%/演習およびデモ 30%(測定器に使用した実習を含む)

【お申込み・スケジュール等の最新情報】

以下のWEBサイトでスケジュール等の最新情報をご覧いただけます。お申込みは、タイトルの横にある“形態”の項目をクリックして下さい。

<http://www.keysight.co.jp/find/training>

【コース内容】

基礎編および演習

1. 概要：スペクトラム分析とは何か？
2. スペクトラム・アナライザの構造と動作原理
アッテネータ、ミキサ、RBW/VBW、検波器、感度(ダイナミックレンジ)、パルス信号の考え方 等
3. 仕様：どの仕様が重要か？それはなぜか？
周波数精度、振幅精度、測定ポイント数 等
4. 測定テクニックのご紹介

応用編および演習

1. Xシリーズ・シグナル・アナライザの特徴と測定機能
2. パルス信号の測定
3. ひずみ測定および見極め
4. デジタル変調信号測定

【ご注意】

- デジタル復調の内容は含みません。
- 掃引型のスペクトラム・アナライザで測定出来るパワー関連の測定項目に限ります。
- テキストのみの販売は行っておりません。
- クラスルーム最小開催人数：申込者数が5人に達しない場合には、中止になる場合がございます。

キーサイト・テクノロジー・トレーニングコース

キーサイト・テクノロジーでは、エンジニアの技術知識やスキル向上に少しでもお役に立てるようにトレーニング・コースを実施しておりますのでご利用下さい。

各コースの紹介、開催スケジュール、お申込み等の詳細は以下のWEBページをご覧ください。

<コースカテゴリ>

- EDA - マイクロ波 - デバイス - パワー・デバイス
- デジタル - 計測プログラミング - 光測定

コースの詳細、開催スケジュール、お申込み等はこちらをご覧ください。

<http://www.keysight.co.jp/find/training>

キーサイト・テクノロジー合同会社

本社 〒192-8550 東京都八王子市高倉町9-1

計測お客様窓口

受付時間 9:00-18:00 (土・日・祭日を除く)

TEL ☎ 0120-421-345 (042-656-7832)

FAX ☎ 0120-421-678 (042-656-7840)

Email contact_japan@keysight.com

ホームページ www.keysight.co.jp

記載事項は変更になる場合があります。
ご発注の際はご確認ください。



© Keysight Technologies, 2017
Published in Japan, February 15, 2017
5990-7309JAJP
0000-08cS
www.keysight.co.jp